

## 2021年度活動報告書

コロナ禍2年目の2021年度の総活動時間は、引き続き活動が大きく制限されたため、1年目と同水準だった。分野別活動でも野外活動が主となり、環境整備・森林保全活動が中心となった。今後も、コロナ対策にそった活動の提案が必要と思われる。

会員数は、昨年に続いて年度途中で入会者があり増加したが、年度末には、高齢化等の理由で複数の退会者があった。継続的な活動や役員体制の刷新のために、新入会員の募集に引き続き取り組むことが必要と考える。

### 1. 20周年記念事業

2020年度から持ち越しの20周年記念ツアーは、コロナが終息に至らず実施できなかった。

### 2. 会員の動静

退会者が5名（内逝去1名）、加入者が1名で、新年度のスタートは22名の会員となった。

2022.4.1 会員 22名 2021.4.1 会員 26名

※退会者5名（山本桂、梶村剛士、伊藤和代、秋篠孝臣、植田智恵子）加入者（薬師寺喜和郎）

### 3. 月例会及び幹事会、年次総会

例会はコロナの感染拡大に対応して、4月、7月、10月、11月、12月、3月、計6回開催した。年次総会は4月開催。例会の出席者は平均で約12人、出席率は約47%だった。

(月例会)	平均出席者数	平均出席率	(月例会)	平均出席者数	平均出席率
2021年度	12.5 人	46.9	2020年度	15.4	58.0 %

### 4. 団体への支援活動

(1) 各団体等への支援活動は、新規事業としてフードバンクとNPOチャリティーサンタを支援した。

(数字は回数)

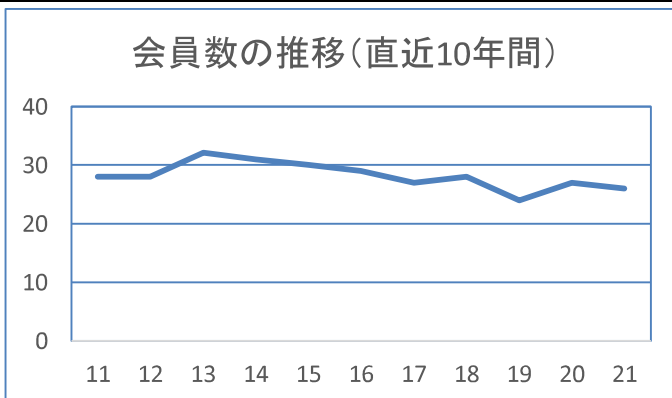
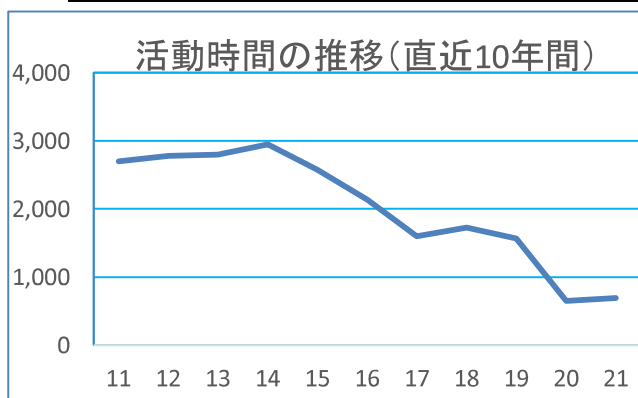
	19年度	20年度	21年度		19年度	20年度	21年度
幸崎海岸	11	13	7	さとぼる	1	1	0
いこいの道	24	4	5	ひまわり	1	0	0
りょうぜん	3	3	0	フードバンク	0	0	6
上野の森	0	3	3	岡原花公園	0	0	2
日赤病院	56	1	0	チャリティーサンタ	0	0	2

(2) コロナ禍2年目の2021年度の総活動時間は、690時間となり1年目と同水準だった。コロナ感染防止対策を考慮した活動の提案が必要である。

分野別活動の時間数ウェイトは、環境整備・森林保全活動31%、障がい者支援7%、公的イベント支援・その他の活動28%、会行事34%割合となり、コロナの感染状況を踏まえて、従来から柱の活動だった病院支援、高齢者支援活動はゼロだった。

(会員数と活動時間の推移)

(年度)	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
会員数	28	28	32	31	30	29	27	28	24	27	26
活動時間	2,702	2,785	2,795	2,951	2,581	2,136	1,600	1,723	1,567	649	690
1人当時間	97	99	87	95	86	74	59	62	65	24	27





## 5. 自主的活動

### (1) 《きれいにしようえ おおいた》活動

広瀬橋周辺を3回、大分川河口付近を1回のゴミ拾い活動を計4回実施した。

### (2) パソコン教室兼勉強会について

あすぴあおおいたの委託を受けて5年目となるパソコン教室は、コロナ禍2年目で4回（7月、10月、11月、12月）しか実施できなかった。希望者を対象に勉強会を2回（4月、3月）実施した。受講生は4名。サポーターは5名の体制で運営した。個人ごと興味のあるテーマを中心に勉強し、それをサポートするとの目標を掲げたが、中止が多かったため、目標はなかなか達成できなかった。勉強の成果を会報「みち」の誌上に受講生4名が発表した。

パソコン教室 4回 平均受講者数 3.5 人

### (3) パソコン相談ボランティア

スマホの相談をあすぴあおおいたで1回行った。

### (4) さわやかハイキング（清掃登山）の実施

12月、宇曾山・障子岳トレッキングを実施しながらごみ拾いを行った。

## 6. 外部研修等への積極的な参加

福祉ボランティアリーダー研修会、子育て環境セミナーに各1名が参加した。

## 7. フリーマーケットについて

会場のエコライフプラザのフリマがコロナで開催されなかったため、実施できなかった。

## 8. 会員懇親行事について

会員懇親会等はコロナの影響ですべて中止とした。

## 9. 活動計画等の周知

例会後、資料「例会次第」「活動計画・実績表」は、ラインの「みちの会グループ」及びEメールにより周知した。例会欠席者でライン、Eメール未利用者はショートメールで主な活動計画を伝えた。ライングループメンバーが17名から21名に増加した。

## 10. 会報「みち」について

年間2回発行し、会員の相互理解・交流や活動の記録化、さらには内外への情報発信に努めた。編集・印刷・製本を複数会員の参加で行ったが、寄稿者が一部の会員に限られ、全会員参加の会報づくりには引き続き課題は残った。

今後とも、日々の活動記録（報告書や写真）の作成を習慣化し、会報の活動アルバムや活動記録のページが簡単に完成するような日常的な取り組みが必要と思われる。斬新な企画や編集担当者の刷新、また、新たな寄稿者の掘り起こしが引き続き必要と思われる。

## 2021年度 収支決算書

ボランティア みちの会

(金額単位:円)

### 収入の部

費 目	今期予算	今期実績	差異	摘 要
前期繰越金	121,795	121,795	0	21年度会費、保険料1名分含む
会費	27,000	27,000	0	1000円×26名、22年度分1名
ボランティア保険料収入	5,600	4,900	△ 700	350円×14名
大分市社協助成金	5,000	6,500	1,500	大分市社協
フリマーケット収入	0	0	0	
パソコン教室謝礼	50,000	20,000	△ 30,000	5000円×4回 大分県社協
寄付金収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
収入合計	209,395	180,195	△ 29,200	

### 支出の部

(金額単位:円)

費 目	今期予算	今期実績	差異	摘 要
ボランティア協議会会費	1,000	1,000	0	大分市社協
ボランティア保険料支払	5,600	5,250	350	350円×15名
研修会・講習会受講料	0	0	0	
通信費	8,000	6,895	1,105	会報等郵送料
文具・印刷費	20,000	6,782	13,218	会報製作費、例会資料印刷費
総会費	0	0	0	
フリーマーケット諸経費	0	0	0	
懇親会助成金	100,000	0	100,000	コロナのため懇親会中止
寄付金支出	0	0	0	
役員謝礼	15,000	15,000	0	代表、コーディネーター、会計@5000円
慶弔費	0	10,000	△ 10,000	山本桂氏
雑費	5,000	0	5,000	
次期繰越金	54,795	135,268	△ 80,473	富山氏22年度会費含む
支出合計	209,395	180,195	29,200	
実支出合計	154,600	44,927	109,673	

(監査報告)

会則第8条により、会計処理は適正に処理され、上記決算書に相違ないことを確認しました。

2022年4月16日

みちの会代表 佐藤 清一 印略